

2024年度 事業報告書

2024年4月1日～2025年3月31日

公益財団法人 理想教育財団

2024年度実施事業の内容

事業区分一覧

事業区分		内 容
A 調 査 ・ 研 究 事 業	A-1	学校情報伝達システムの調査・研究 通信づくり講習会等、教師または大学の教職課程の学生を対象とした講習会の実施 学校における通信活動の教育効果についての調査・研究 いじめのないよりよい学級づくりの調査・研究(2021.4 A-3から移動) 調査研究活動の発表会等の開催
	A-2	教師による自作教材の調査・研究 学習プリントをカラー化することによる教育効果・視覚的効果などの調査・研究
	A-3	児童・生徒による創作表現活動の調査・研究 はがき新聞の教育効果に関する調査・研究 調査研究活動の発表会等の開催
B 情 報 提 供 事 業	B-1	教育関連出版物の刊行 通信づくりに役立つ冊子等の刊行
	B-2	研究情報誌の発行 「季刊理想」の発行
	B-3	ホームページの運用 事業の告知や活動報告、情報開示のほかプリントコミュニケーション活動に役立つ情報を提供する。
C 助 成 ・ 顕 彰 事 業	C-1	後援・支援の事業 臨書と自由書作品展の共催 文化芸術教育の充実に関する事業への助成、その他プリントコミュニケーション活動の発展に関わる事業への助成
	C-2	新聞教育の普及・振興 全国小・中学校・PTA新聞コンクールの後援 全国新聞教育研究大会の後援 地域の新聞教育に対する支援
	C-3	日本人学校等への支援・助成 海外日本人学校に対する児童図書寄贈 その他海外への教育支援
	C-4	コンクールの開催・顕彰 プリントコミュニケーションひろばの開催

2024 年度 事業報告トピックス

A. 調査・研究事業

○ 学校情報伝達システムの調査研究(A-1)

子どもたちが主体となった学級づくりを基盤とする学級経営について調査研究を行っております。子どもたち同士のコミュニケーションと自主的活動を通じ、自己肯定感の向上、協働性、利他性を育み、毎日明るく楽しく通える学級をつくる活動(学級力向上プロジェクト)を支援しました。

この中で当財団の「はがき新聞」は、子どもたちの思考の整理、活動振り返りのためのツールとして活用されており、表現力の育成や子どもたち同士のコミュニケーションの活性に役立ててもらっております。

- ・ 研究会の開催支援:8 カ所開催 延べ 250 名の教職員が参加
- ・ 研修講師派遣:26 カ所へ派遣 延べ 640 名の教職員が参加
- ・ 財団主催のオンライン・フォーラムを開催:450 名の教職員が参加

○ 児童生徒による創作表現活動の調査研究(A-3)

主には「はがき新聞」を活用した授業づくりについての調査研究を行っております。

「はがき新聞」は、学習の基盤となる言語能力を育成するツールとして評価されており、具体的な授業への活用方法とその効果について調査および研究、そして実践を重ねております。また、その研究成果の共有と授業方法を伝播するべくワークショップや研修会を開催しました。

- ・ 「はがき新聞」ワークショップ等の開催:12 カ所開催 400 名の教職員が参加
- ・ 「はがき新聞」研究会を開催:30 名の教職員が参加

2020 年から「はがき新聞」の授業における活用が停滞しておりました。ICT 教育の推進が影響したものと思われませんが、デジタル・アナログ問わず学習基盤となる言語能力の育成は重要なことから「はがき新聞」の授業における活用が再び進んでおります。

B. 情報提供事業

○ 各種媒体を通じ教職員の皆様に役立つ情報の提供、財団の広報活動を行いました。

- ・ 機関誌「季刊理想」春・夏・秋・冬号を発行
- ・ 通信づくりの支援冊子として「著作権ガイド」第3版を発行
- ・ ホームページでの「はがき新聞」等の助成物品のご案内、受付を実施

C. 助成・顕彰事業

○ 助成

当財団が賛同する活動を行っている団体へ後援や支援を行いました。

- ・ 「はがき新聞」活用したイベントの後援
- ・ 新聞を活用した教育の研究大会、コンクール、研修会の後援、支援
- ・ 海外の日本人学校への図書寄贈

○ 顕彰

第 19 回「プリントコミュニケーションひろば」応募作品の表彰および作品集を発行しました。

- ・ 応募作品数 90 点、受賞作品数 33 点

尚、「プリントコミュニケーションひろば」の開催は第 19 回をもって終了としております。

その他

○ 新規事業

私学の学びの多様化学校(小学校・中学校)を対象とした奨学金給付事業の 2025 年度からの開始に向けて、その準備を行いました。

以上

【A】調査・研究事業

A-1 学校情報伝達システムの調査・研究

(1) 調査・研究活動等

A-1 (1)	①日本学級力向上研究会 関西支部会(後援)
日 時	6月1日(土)13:00～17:00
場所・参加者	TKPガーデンシティPREMIUM大阪駅前(ハイブリッド開催) 参加41名(うちオンライン参加2名)
内 容	・学級力向上プロジェクト実践報告、ワークショップ、他 (堺市立浜寺小学校 教頭 藤井 幸一 先生、大阪市立味原小学校 廣瀬 裕介 先生、京都聖母学院小学校 清水 生恵 先生、はつしば学園小学校 柴田 和也 先生、金沢学院大学 講師 向田 識弘 先生、愛知教育大学 准教授 磯部 征尊 先生) ・大阪体育大学教育学部 教授 蛭谷 みさ 先生による総括
A-1 (1)	②日本学級力向上研究会 中部支部会(後援)
日 時	8月24日(土)9:40～12:45
参加者	ウインクあいち 参加40名
内 容	・学級力向上プロジェクト実践報告、ワークショップ、他 (日進市立相野山小学校 澤田 謙一 先生、名古屋市立比良西小学校 中井 智恵 先生) ・特別講演 江南市立古知野中学校 校長 水谷 政名 先生 ・大阪大谷大学 教育学部 教授 今宮 信吾 先生による総括
A-1 (1)	③日本学級力向上研究会 四国支部高知分科会(後援)
日 時	8月24日(土)13:00～16:00
参加者	高知県建設会館 参加32名
内 容	・学級力向上プロジェクト実践報告、他 (越知町立越知小学校 池本 玲奈 先生、井口 健太郎 先生、環太平洋大学 准教授 藤井 健太郎 先生、准教授 木野 正一郎 先生) ・特別講演 愛知教育大学 准教授 磯部 征尊 先生 ・南国市立国府小学校 校長 三好 文 先生による講評
A-1 (1)	④日本学級力向上研究会 北陸支部会(後援)
日 時	8月31日(土)13:15～15:15
場所・参加者	新潟駅前NINNO3 参加18名
内 容	・学級力向上プロジェクト実践報告、他 (新潟市立小針小学校 寺山 晋一 先生、新潟市立大形中学校 高尾 早彩 先生、新潟市立味方小学校 森田 柁也 先生) ・金沢学院大学講師 向田 識弘先生による指導・講評 ・愛知教育大学 准教授 磯部 征尊 先生による総括
A-1 (1)	⑤日本学級力向上研究会 関西支部会(後援)
日 時	10月12日(土)13:00～17:00
場所・参加者	AP イノゲート大阪C ルーム 参加35名
内 容	・学級力向上プロジェクト実践報告、他 (尼崎市立小園小学校 砂田 祐馬 先生、堺市立浜寺小学校 教頭 藤井 幸一 先生、富田林市立向陽台小学校 仲野 和義 先生、摂津市立三宅柳田小学校 佐藤 隆史 先生、摂津市立三宅柳田小学校 西田 由貴 先生、京都聖母学院小学校 清水 生恵 先生、はつしば学園小学校 平林 千恵 先生) ・大阪体育大学教育学部 教授 蛭谷 みさ 先生による総括

A-1 (1)	⑥日本学級力向上研究会 ブロック大会(後援)
日 時	10月19日(土)13:00～17:00
場所・参加者	理想教育財団 会議室 参加47名(うちオンライン参加33名)
内 容	・学級力向上プロジェクト実践報告、他 (札幌市立東橋小学校 神山 達郎 先生、太田市立九合小学校 星野 佑貴 先生、能登町立能都中学校 西門 綾子 先生、富田林市立向陽台小学校 仲野 和義 先生、千歳市立信濃小学校 佐藤 宏 先生、はつしば学園小学校 平林 千恵 先生、一宮市立末広小学校 櫻井 純子 先生) ・早稲田大学教職大学院 教授 田中 博之 先生、愛知教育大学 准教授 磯部 征尊 先生による総括
A-1 (1)	⑦日本学級力向上研究会 中部支部会(後援)
日 時	2月1日(土)9:40～12:45
参加者	Tsудоico 名 駅東 カンファレンスセンター Room G 参加25名
内 容	・学級力向上プロジェクト実践報告、ワークショップ、他 (日進市立日進中学校 石田 亜由美 先生、知立市立猿渡小学校 大山 和則 先生、春日井市立坂下中学校 校長 今田 宗孝 先生) ・大阪大谷大学 教育学部 教授 今宮 信吾 先生による総括
A-1 (1)	⑧日本学級力向上研究会 北海道支部会(後援)
日 時	2月8日(土)13:00～17:15
参加者	北見市北見北地区公民館 参加18名
内 容	・学級力向上プロジェクト実践報告、他 (網走市立南小学校 篠原 諒伍 先生、はつしば学園 平林 知恵 先生、千歳市立信濃小学校 佐藤 宏 先生、札幌市立新川中央小学校 難波 駿 先生) ・愛知教育大学 准教授 磯部 征尊 先生による総括

(2)調査研究活動の発表

A-1 (2)	①学級力向上プロジェクトオンラインフォーラム
日 時	2月15日(土)13:00～16:30 ・録画オンデマンド配信:2月16日(日)00:00～2月24日(月)23:59
場所・参加者	東京AP会議室 仮設スタジオより YouTubeでライブおよび録画オンデマンド配信 視聴者450名
内 容	・特別講演「子どもたちのウェルビーイングを育む学級力向上プロジェクト」 早稲田大学教職大学院 教授 田中 博之先生 ・実践事例発表 テーマ:「気軽に取り組める学級力向上プロジェクトの紹介」 実践者 伊丹市立桜台小学校 横山和伸先生、日進市立日進西中学校 岩本 光司先生 指導・講評 群馬大学共同教育学部 講師 紺谷 正樹先生 ・パネルディスカッション テーマ:「学級力向上プロジェクトで大きく成長する子供達」 コーディネーター 日進市立日進西中学校 河村 敏文先生 アドバイザー 愛知教育大学創造科学系 准教授 磯部 征尊先生 パネリスト 春日井市立坂下中学校 校長 今田 宗孝先生、桐生市立桜木小学校 林 秀樹先生 新潟市立濁川中学校 伊藤 綾香先生、札幌市立和光小学校 佐々木諒平先生 ・質疑応答&意見交換 テーマ:「子どもたちによる学級づくりの実現を目指してー教師は何をすべきかー」 コーディネーター 堺市立浜寺小学校 教頭 藤井 幸一先生 アドバイザー 金沢学院大学教育学部 講師 向田 識弘先生 ・総括 秋田県立大学総合科学教育研究センター 教授 伊藤 大輔氏

(3)研修会・資料作成等

A-1 (3)	①高知県 越知町教育委員会 学級力教員研修(講師派遣)
日 時	4月4日(木) 10:00～11:30
場所・参加者	越知町立越知小学校 参加14名
内 容	・講師は愛知教育大学 准教授 磯部 征尊 先生 ・学級力向上プロジェクトの理論と実践について講演 ※④
A-1 (3)	②高知県 南国市立国府小学校 学級力教員研修(講師派遣)
日 時	4月4日(木) 13:30～15:00
場所・参加者	南国市立国府小学校 参加15名
内 容	・講師は愛知教育大学 准教授 磯部 征尊 先生 ・学級力向上プロジェクトの理論と実践について講演 ※④
A-1 (3)	③岐阜県関市教育委員会 学級経営に関する教職員研修会 第1回(講師派遣)
日 時	5月9日(火) 14:00～16:30
場所・参加者	関市わかさ・プラザ 学習情報館 参加24名
内 容	・講師は愛知教育大学 准教授 磯部 征尊 先生、一宮市立末広小学校 櫻井 純代 先生 ・年間を通して「仲間との関りを通して主体的に取り組む生活づくり」を主眼とした学級活動のあり方の追及を目的とした年4回＋初任者研修の合計5回の研修。市内の小学校17校、中学校9校から参加。 ・第1回は、学級力の基本、模擬授業、他
A-1 (3)	④名古屋市立藤が丘小学校 学級力教員研修会(講師派遣)
日 時	6月13日(木) 15:00～16:00
場所・参加者	名古屋市立藤が丘小学校 参加30名
内 容	・講師は愛知教育大学 准教授 磯部 征尊 先生 ・「学級力向上プロジェクト」の実践指導
A-1 (3)	⑤新潟市葛塚中学校 学級力向上教員研修(講師派遣)
日 時	6月19日(水) 15:00～16:30
場所・参加者	新潟市葛塚中学校 参加26名
内 容	・講師は愛知教育大学 准教授 磯部 征尊 先生 ・学級力向上プロジェクトの理論と実践について講演 ・実践者として、新潟市立大形中学校 高尾 早彩先生が発表
A-1 (3)	⑥新潟市木崎中学校 学級力向上教員研修(講師派遣)
日 時	6月21日(金) 15:00～16:30
場所・参加者	新潟市木崎中学校 参加24名(木崎中 17名、木崎小 7名)
内 容	・講師は愛知教育大学 准教授 磯部 征尊 先生 ・学級力向上プロジェクトの理論と実践について講演 ・木崎小学校の多くの児童が木崎中に進学するため木崎小学校教員も参加
A-1 (3)	⑦埼玉県 深谷市立川本北小学校 学級力教員研修(講師派遣)
日 時	7月2日(火) 13:45～16:30
場所・参加者	深谷市立川本北小学校 参加28名
内 容	・講師は愛知教育大学 准教授 磯部 征尊 先生 ・学級力向上プロジェクトの取り組み方について講演 ※④

A-1 (3)	⑧岐阜県 関市教育委員会 学級経営に関する教職員研修会 第2回(講師派遣)
日 時	7月23日(火)10:30～11:50
場所・参加者	オンライン 参加24名
内 容	・講師は金沢学院大学 向田 識弘 先生、一宮市立末広小学校 櫻井 純代 先生 名古屋学芸大学 中村 恵美子 先生、日進市立日進西中学校 奥園 佳香 先生、 春日井市立坂下中学校 校長 今田 宗孝 先生 ・学級力向上プロジェクトの実践内容および課題点の発表・交流、他
A-1 (3)	⑨群馬県 桐生市教育委員会 学級活動・学級経営研修会(講師派遣)
日 時	7月23日(火)13:30～16:00
場所・参加者	桐生市職業訓練センター 参加43名
内 容	・講師は愛知教育大学 准教授 磯部 征尊先生 ・学級力向上プロジェクトを通じた子どもたちの自治力の育成について講演 ・市内小中学校各校の教員が参加
A-1 (3)	⑩滋賀県 草津市高穂中学校 学級力教員研修(講師派遣)
日 時	8月2日(土)10:00～11:30
場所・参加者	草津市立高穂中学校 参加55名
内 容	・講師は愛知教育大学 准教授 磯部 征尊 先生 ※④ ・学級力向上プロジェクトの理論と実践について講演
A-1 (3)	⑪高知県 越知町教育委員会 学級力教員研修(講師派遣)
日 時	8月23日(金)9:30～11:30
場所・参加者	越知町立越知小学校 参加14名
内 容	・講師は愛知教育大学 准教授 磯部 征尊 先生 ※④ ・学級力向上プロジェクト応用編および一学期活動振り返りと指導助言
A-1 (3)	⑫高知県 南国市立国府小学校 学級力教員研修(講師派遣)
日 時	8月23日(金)13:30～15:00
場所・参加者	南国市立国府小学校 参加15名
内 容	・講師は愛知教育大学 准教授 磯部 征尊 先生 ※④ ・学級力向上プロジェクトの一学期活動振り返りと指導助言
A-1 (3)	⑬新潟県 新潟市立葛塚中学校 学級力教員研修(講師派遣)
日 時	9月27日(金)16:00～17:00
場所・参加者	新潟市立葛塚中学校 参加26名
内 容	・講師は愛知教育大学 准教授 磯部 征尊 先生(講師はオンライン参加) ※④ ・学級力向上プロジェクトの年度中間点における活動課題と指導助言
A-1 (3)	⑭埼玉県 深谷市立川本北小学校 学級力教員研修(講師派遣)
日 時	10月24日(火)13:45～16:30
場所・参加者	深谷市立川本北小学校 参加28名
内 容	・講師は愛知教育大学 准教授 磯部 征尊 先生 ※④ ・学級力向上プロジェクトの取り組み方についてのつまずきの確認と講演及び指導助言

A-1 (3)	⑮岐阜県 関市教育委員会 学級経営に関する中学校教職員研修会 第3回(講師派遣)
日 時	11月7日(火)13:00～16:00
場所・参加者	関市立旭ヶ丘中学校 参加9名
内 容	・講師は金沢学院大学 向田 識弘 先生 ・学級力向上プロジェクトの実践内容および課題点の発表・交流、他 関市立旭ヶ丘中学校の代表授業者による授業公開の参観、研修
A-1 (3)	⑯岐阜県 関市教育委員会 初任者向け学級力教職員研修会(講師派遣)
日 時	11月12日(火)10:45～11:45
場所・参加者	オンライン 参加9名
内 容	・講師は愛知教育大学 准教授 磯部 征尊 先生 ・初任者向けに学級経営と学級力向上プロジェクトについて講習
A-1 (3)	⑰岐阜県 関市教育委員会 学級経営に関する小学校教職員研修会 第3回(講師派遣)
日 時	11月21日(木)13:00～16:00
場所・参加者	関市立瀬尻小学校 参加17名
内 容	・講師は金沢学院大学 向田 識弘 先生 ・学級力向上プロジェクトの実践内容および課題点の発表・交流、他 関市立瀬尻小学校の代表授業者による授業公開の参観、研修
A-1 (3)	⑱埼玉県 深谷市立川本北小学校 学級力教員研修(講師派遣)
日 時	11月21日(木)13:45～16:30
場所・参加者	深谷市立川本北小学校 参加25名
内 容	・講師は愛知教育大学 准教授 磯部 征尊 先生 ・学級力向上プロジェクトの年度末に向けた活動に対する指導助言 ※④
A-1 (3)	⑲滋賀県 草津市高穂中学校 学級力教員研修(講師派遣)
日 時	11月26日(火)15:00～16:30
場所・参加者	草津市立高穂中学校 参加55名
内 容	・講師は愛知教育大学 准教授 磯部 征尊 先生 ・学級力向上プロジェクトの一学期活動振り返りと指導助言 ※④
A-1 (3)	⑳新潟県 新潟市竹尾小学校 学級力教員研修(講師派遣)
日 時	12月12日(木)13:45～16:40
場所・参加者	新潟市立竹尾小学校 参加18名
内 容	・講師は愛知教育大学 准教授 磯部 征尊 先生 ・学級力向上プロジェクトの理論と実践について講演および授業参観と指導助言 ※④
A-1 (3)	㉑愛知県 名古屋市立矢田小学校 学級力教員研修(講師派遣)
日 時	12月19日(火)14:45～15:45
場所・参加者	名古屋市立矢田小学校 参加30名
内 容	・講師は愛知教育大学 准教授 磯部 征尊 先生 ・学級力向上プロジェクトの取り組み方についての指導助言 ※④
A-1 (3)	㉒新潟県 佐渡市教育委員会 学級力教員研修(講師派遣)
日 時	1月28日(木)13:45～16:40
場所・参加者	佐渡市立佐和田中学校 参加18名
内 容	・講師は愛知教育大学 准教授 磯部 征尊 先生 ・学級力向上プロジェクトの講習および代表授業者(佐和田中学校)による授業公開と指導助言 ※④

A-1 (3)	㊸新潟県 新潟市立横越中学校 学級力教員研修(講師派遣)
日 時	2月19日(水)14:00 ～ 15:30
場所・参加者	新潟市立横越中学校 参加22名
内 容	・講師は愛知教育大学 准教授 磯部 征尊 先生 ・学級力向上プロジェクトの取り組み方についての指導助言 ※㊸
A-1 (3)	㊹新潟県 新潟市立葛塚中学校 学級力教員研修(講師派遣)
日 時	2月20日(木)14:20 ～ 16:40
場所・参加者	新潟市立葛塚中学校 参加12名
内 容	・講師は愛知教育大学 准教授 磯部 征尊 先生 ・学級力向上プロジェクトの取り組み方についての指導助言 ※㊸
A-1 (3)	㊺福岡県 福岡市立野多目小学校 学級力教員研修(講師派遣)
日 時	2月27日(木)15:00 ～ 16:30
場所・参加者	福岡市立野多目小学校 参加35名
内 容	・講師は愛知教育大学 准教授 磯部 征尊 先生 ・初任者向けに学級経営と学級力向上プロジェクトについて講習 ※㊸
A-1 (3)	㊻新潟県 新潟市立曽野木中学校 学級力教員研修(講師派遣)
日 時	3月11日(火)11:00～16:30
場所・参加者	新潟市立曽野木中学校 参加21名
内 容	・講師は愛知教育大学 准教授 磯部 征尊 先生 ・学級力向上プロジェクトの授業参観と指導助言および講習 ※㊸

A-2 教師による自作教材の調査・研究

A-2	①「学習プリントをカラー化することによる教育効果や視覚効果などについての調査・研究」
内 容	・助成品として「2色プリントの活用事例」を配布 ・授業実践事例の作品集を作成

A-3 児童・生徒による創作表現活動の調査・研究

「はがき新聞の教育効果に関する調査・研究」

調査・研究対象について

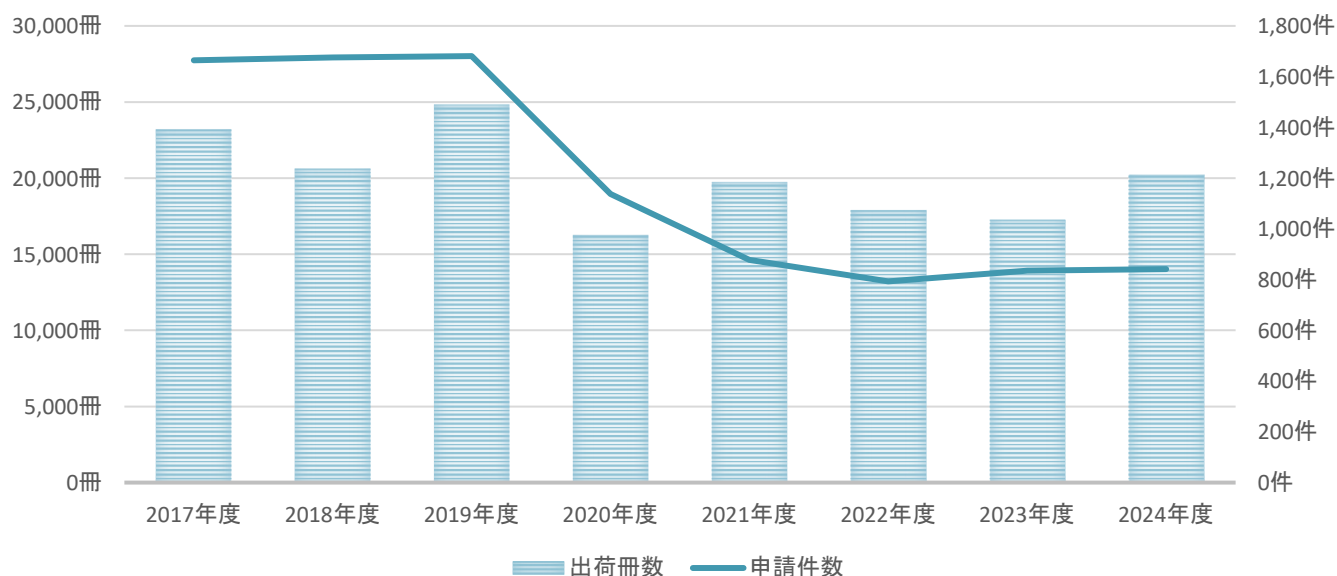
*学習指導要領の「言語活動の充実」を図るため、思考力・判断力・表現力・コミュニケーション力を高める教育手法として「はがき新聞づくり」を推奨。「はがき新聞づくり」は単なる行事、体験の報告に留まらず、多くの教科での活用が可能である。

学力の基盤的となる言語能力を培うツールとして、また非認知能力を育成するツールとしても活用されており、学校教育の様々な局面においての「はがき新聞」活用方法の開発と効果の検証を目的に実施している。

(1) 主な活動状況

A-3 (1)	①実践援助としての助成状況 2025年3月末現在			※1 特別助成校(プリンター付きで助成をしている学校) 一般助成校(はがき新聞原稿のみ助成をしている学校)
	※1特別助成校	※1一般助成校	合計	
小学校	80校	1,936校	2,016校	
中学校	30校	1,174校	1,204校	
小・中学校計	110校	3,110校	3,220校	
高校・特別支援等※	4校	89校	93校	
助成校 総計	114校	3,199校	3,313校	
2024. 3末	125校	3,035校	3,160校	
増減	▲ 11校	164校	153校	

A-3 (1)	②はがき新聞 助成品(原稿用紙)出荷数推移 2025年3月末現在								
	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	
出荷冊数	23,201冊	20,632冊	24,835冊	16,283冊	19,756冊	17,902冊	17,281冊	20,231冊	
申請件数	1,664件	1,676件	1,681件	1,137件	878件	793件	835件	842件	
出荷冊数/件	14冊	12冊	15冊	14冊	23冊	23冊	21冊	24冊	



(2)はがき新聞の教育効果についての研究委託

A-3 (2)	①研究テーマ 「はがき新聞活用が文章力向上にどうつながるかに関する調査、研究」
内 容	はがき新聞の活用と文章力の向上の相関および学力への影響について、また、国語教育と文体の調査(はがき新聞での文体の調査研究)。併行して、はがき新聞研究会の座長として推進に努めてもらう
実施期間	2024年4月1日～2025年3月31日
研究委託者	早稲田大学文学学術院 教授 森山 卓郎 先生 1982年京都教育大学卒、1985年大阪大学大学院文学研究科博士課程修了、1988年同大学講師、1990年京都教育大学助教授、2004年同教授、2008年より附属幼稚園長を兼任、2012年より早稲田大学文学学術院教授、京都教育大学名誉教授
A-3 (2)	②研究テーマ 「新たなスタイルのはがき新聞の実践の普及活動と実践事例の収集」
内 容	学校現場の実践的調査にから得た「はがき新聞用紙」を書く機会を増やすことで児童生徒の資質・能力の伸長に効果的であるという研究と、その成果の教育現場への還元
実施期間	2024年4月1日～2025年3月31日
研究委託者	佐賀大学 教育学部 国語科教育 教授 達富 洋二 先生 離島の小規模公立小学校、都市部の公立小学校、国立大学附属小学校および小中学校など、約20年間の小中学校での実践を経て、現在は佐賀大学に勤務、長崎純心大学非常勤講師 九州教室の声に学ぶ会をはじめ、長崎、佐賀、熊本、鹿児島など、九州各地で研究会を主宰
A-3 (2)	③研究テーマ「学級力を高めるはがき新聞のDX方法の開発研究 ー子どもたちがアナログとデジタルを融合する新しい学びへの挑戦ー」
内 容	はがき新聞を用いた学習履歴の作成と学習評価の在り方、オンラインギャラリーを通じた学習成果の共有、オンライン版はがき新聞の活用方法の研究開発
実施期間	2024年4月1日～2025年3月31日
研究委託者	早稲田大学教職大学院 教授 田中 博之 先生 大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程在学中に助手となり、大阪教育大学助教授・教授を経て、2009年4月より現職、文部科学省「全国的な学力調査に関する専門家会議」委員(2007年ー2018年) 専門は授業デザイン・学習指導論
A-3 (2)	④研究テーマ 「学力と自己成長力の育成における言語能力育成研究」
内 容	学力(情報活用能力、プログラミング的思考力)育成と言語能力との因果関係、及び学級経営における子どもたちの言語能力との因果関係の解明。また、はがき新聞の活用を通し子どもたちの言語能力を鍛えることで、より高い学力と自己成長力を身に付けられることを検証する
実施期間	2024年4月1日～2025年3月31日
研究委託者	国立大学法人愛知教育大学 同大学 創造科学系 技術教育講座 准教授 磯部征尊先生が主幹で研究を実施 公立小学校、国立大学附属小学校など、10年間の第一線での実践を経て現職 学級経営、問題解決的な学習づくり、プログラミング教育が専門

(3) 調査研究活動の発表

A-3 (3)	①はがき新聞研究会
日 時	10月20日(日)10:00～15:00
場所・参加者	財団会議室 ハイブリッド開催 参加30名(内オンライン14名)
内 容	・実践報告1:直近の「はがき新聞」の実践事例 江戸川区立南篠崎小学校 堀口 友紀 先生 ・実践報告2:指導する小学校の現状について 帝塚山大学 教育学部 教授 徳永 加代 先生 ・実践報告3:「はがき新聞」を使った新しい授業づくりについて 愛知教育大学 創造科学系 准教授 磯部 征尊 先生 堺市立浜寺小学校 教頭 藤井 幸一 先生 日進市立日進西中学校 河村 敏文 先生 はつしば学園小学校 平林 千恵 先生 ・実践報告4:群馬県における「はがき新聞」実践者拡大活動 群馬大学 共同教育学部 講師 紺谷 正樹 先生 ・実践報告5:AIを活用した「はがき新聞」の推敲 尾張旭市立西中学校 彦田 泰輔 先生 ・研究報告:新原稿用紙の提案(活用と今後の展望) 佐賀大学 教育学部 教授 達富 洋二 先生 ・総括 早稲田大学文学学術院 教授 森山 卓郎 先生

(4) 研修会・資料作成等

A-3 (4)	①はがき新聞ワークショップ in 群馬(後援)
日 時	7月30日(土) 13:30～16:30
場所・参加者	群馬県庁 NETSUGEN 参加6名
内 容	・群馬大学共同教育学部附属教育実践センターが主催 ・講師は群馬大学 講師 紺谷 正樹 先生、桐生市立桜木小学校 林 秀樹 先生、太田市立九合小学校 星野 佑貴 先生 ・はがき新聞を活用した効果的な指導方法の解説とワークショップ、実践例を紹介

A-3 (4)	②九州 教室の声に学ぶ会 鹿児島県の集い 教員向け研修会(後援)
日 時	8月17日(土) 13:00～16:30
場所・参加者	ダイワロイネットホテル鹿児島天文館 参加30名
内 容	・主催は、佐賀大学 教授 達富 洋二 先生 ・新たな「はがき新聞用紙」を用いた実践の交流および実践の効果の考察

A-3 (4)	③はがき新聞ワークショップ in 新潟(主催)
日 時	8月31日(土)15:25～17:05
場所・参加者	新潟駅前NINNO3 参加18名
内 容	・学級づくりにも授業づくりにも使える、はがき新聞の体験型ワークショップ ・講師は、金沢学院大学講師 向田 識弘先生、愛知教育大学 准教授 磯部 征尊 先生

A-3 (4)	④教室の声に学ぶ会 ―指月会― 教員向け研修会(後援)
日 時	9月14日(土) 10:00～15:30
場所・参加者	大阪市 千里朝日阪急ビル 参加10名
内 容	・主催は、佐賀大学 教授 達富 洋二 先生 ・新たな「はがき新聞用紙」を用いた実践の交流および実践の効果の考察

A-3 (4)	⑤千葉県 市川市立塩焼小学校 はがき新聞出前授業(講師派遣)
日 時	9月26日(木)・27日(金) 9:00～11:45
場所・参加者	市川市立塩焼小学校 4年生児童
内 容	・講師は市川市立妙典中学校 武藤 和彦 先生(千葉新聞教育研究会) ・「4学年 国語科 つくろう学級新聞(はがき新聞に挑戦)」 毎朝届く新聞の活用、はがき新聞の書き方、はがき新聞を書く時のテーマの決め方、他

A-3 (4)	⑥はがき新聞ワークショップ in 名古屋(主催)
日 時	9月28日(土)13:00～17:10
場所・参加者	TKP名鉄名古屋駅前 参加35名
内 容	・「はがき新聞を活用した授業づくり」と題し、言語活動概論、模擬授業、指導案作りワークショップ、他を実施 ・講師は、早稲田大学文学学術院 教授 森山 卓郎先生、愛知教育大学 准教授 磯部 征尊 先生、豊田市立井上小学校 田中智恵先生、はつしば学園小学校 平林千恵先生、日進市立日進西中学校 河村敏文先生、知立市立猿渡小学校 大山和則先生、尾張旭市立西中学校 彦田泰輔先生
A-3 (4)	⑦はがき新聞ワークショップ in 群馬(後援)
日 時	10月12日(土) 13:30～16:30
場所・参加者	高崎白銀ビル貸会議室 参加15名
内 容	・群馬大学共同教育学部附属教育実践センターが主催 ・講師は群馬大学 講師 紺谷 正樹 先生、桐生市立桜木小学校 林 秀樹 先生、太田市立九合小学校 星野 佑貴 先生 ・特別講演 東京学芸大学 林 尚示先生 ・はがき新聞を活用した効果的な指導方法の解説とワークショップ、実践例を紹介
A-3 (4)	⑧京都市小学校教育研究会「令和6年度 青年教員並びに幹事研修会」(講師派遣)
日 時	11月15日(金)18:00～19:30
場所・参加者	京都市総合教育センター松永記念ホール 参加者約170名
内 容	・講師は愛知教育大学 准教授 磯部 征尊 先生 ・内容は「教師の働き甲斐をつくりだす」と題し、学級経営とはがき新聞を交えて講演
A-3 (4)	⑨東洋大学文学部 教職実習演習「はがき新聞・学級通信講座」(講師派遣)
日 時	11月18日(月)・12月9日(月)13:00～14:30
場所・参加者	東洋大学 6201教室 参加41名
内 容	・講師は日本新聞協会 NIEコーディネーター 関口 修司 先生 ・講座内容は新聞や通信を活用し表現力・読解力を高める指導方法と学級経営について
A-3 (4)	⑩千葉県 市川市立幸小学校 はがき新聞出前授業(講師派遣)
日 時	12月5日(木)9:20～11:20・13日(金)9:20～11:20
場所・参加者	市川市立幸小学校 3年生児童
内 容	・講師は市川市立妙典中学校 武藤 和彦 先生(千葉県新聞教育研究会) ・「3学年 社会科 つくろう個人新聞(はがき新聞に挑戦)」 - 毎朝届く新聞の活用、はがき新聞の書き方、はがき新聞を書く時のテーマの決め方、他
A-3 (4)	⑪九州 教室の声に学ぶ会 天草の集い 教員向け研修会(後援)
日 時	2月22日(土) 13:30～16:20
場所・参加者	天草市複合施設 こころす 参加32名
内 容	・主催は、佐賀大学 教授 達富 洋二 先生 ・テーマ「一枚に書くことの可能性」 - 新たな「はがき新聞用紙」を用いた実践の交流および実践の効果の考察
A-3 (4)	⑫九州 教室の声に学ぶ会 長崎の集い 教員向け研修会(主催)
日 時	3月8日(土) 13:45～16:50
場所・参加者	出島メッセ長崎 参加47名
内 容	・主催は、佐賀大学 教授 達富 洋二 先生 ・テーマ「一枚に書くことの可能性」 - 新たな「はがき新聞用紙」を用いた実践の交流および実践の効果の考察

【B】情報提供事業

B-1 教育関連出版物の刊行

B-1	①刊行物の発行・増刷
内 容	・通信づくりの支援冊子として「著作権ガイド」第3版を発行 ・既存刊行物の増刷

B-2 研究情報誌の発行

B-2	①機関誌『季刊理想』の発行
内 容	・6月(夏号)9月(秋号)12月(冬号)3月(春号)を発行。読者拡大のため寄稿者選考など紙面の充実を図った

B-3 ホームページの運用

B-3	①現場支援のための情報とツールの提供及び財団情報の発信
内 容	・各種助成品の紹介や、申し込み窓口としての機能充実及び各種情報を更新

【C】助成・顕彰事業

C-1 後援・支援事業

C-1	①令和6年度横浜市立学校総合文化祭(協賛)
日 時	7月23日から2月28日まで各分野ごとに開催
内 容	・協賛金拠出(開催ポスター制作代等の補助)
C-1	②小中学生記者の文化財取材コンクール(後援)
日 時	7月27日(土)13:00～16:00
場所・参加者	京都府京都文化博物館 参加36名(小学生31名、中学生5名)
内 容	・主催は公益財団法人京都古文化保存協会 ・子供たちが重要文化財の修理をしている職人の技術を体験し、その技術がどのように活かされているのかを取材し、小学生ははがき新聞を作成し応募、中学生は記事の部・写真の部いずれかに応募 ・賞は京都市長賞、京都府教育長賞、京都新聞賞、理想教育財団賞他
C-1	③第8回きゅうでんはがき新聞コンクール(後援)
日 時	令和6年6月～9月17日まで小学生・中学生を対象に応募受付
場所・参加者	九州電力・九州電力送配電・西日本新聞社 応募6,696作品
内 容	・次世代層のエネルギー分野への関心を高め、将来の人材育成に繋げることを目的としたコンクール ・電気やエネルギーについて調べ・考えたことをまとめて「はがき新聞」を作成し応募 ・個人受賞者は113名(最優秀賞4名、優秀賞8名)・クラス賞受賞は60クラス

C-2 新聞教育の普及・振興

C-2	①第29回NIE全国大会 京都大会(後援)
日 時	8月1日(木)～2日(金)
場所・参加者	ロームシアター京都・京都経済センター 参加1,200名
内 容	・NIE実践者およびNIEに関心をお持ちの先生方と新聞社のNIE担当者を対象に、先生同士の経験交流、先生方と新聞関係者との情報交換の場を提供することを目的に毎年開催 ・ポスターセッションで「はがき新聞を活用した授業づくり」を提案 ・学校向けデジタルサービス展示・紹介コーナーに出展し、「はがき新聞」を中心に財団PRを実施
C-2	②第57回学校新聞まめ記者講習会(印刷支援)
日 時	8月6日(火)～8日(木)
場所・参加者	インターナショナルリゾートホテル湯落城 参加110名(小学生)
内 容	・清泉、カリタス、青山学院横浜英和、相模女子大、関東学院六浦、聖マリア、立教の各附属小学校が参加 ・8月6日(火):成田山新勝寺で取材後、新聞を作成 ・8月7日(水):成田国際空港株式会社・日本航空で取材後、新聞を作成
C-2	③千葉県新聞教育研究会夏季研修会(講師派遣)
日 時	8月8日(木)13:30～16:30
場 所	千葉縣市川市全日警ホール 参加39名
内 容	・講師は日本新聞協会NIEコーディネーター 関口 修司 先生 ・「NIEとICTどっちもか?どっちかか?」 - 学力状況調査を受けて、ICTが児童生徒へもたらす成果や課題について講演
C-2	④令和6年度 岩手県小・中学校新聞コンクール(表彰盾製作費の助成)
日 時	令和6年4月～11月1日までに発行した新聞を対象に応募受付
場所・参加者	岩手県新聞研究協議会 応募245作品
内 容	・新聞教育の普及・発展を目的としたコンクール ・受賞者は80名(最優秀賞11名、優秀賞19名) ・はがき新聞は、小学校の部、中学校の部で6名が受賞(最優秀賞1名、優秀賞3名)
C-2	⑤沖縄NIEセミナー(講師派遣)
日 時	11月30日(土)14:00～16:30
場所・参加者	沖縄タイムス社5階会議室 参加17名
内 容	・講師は日本新聞協会NIEコーディネーター 関口 修司 先生 ・テーマ「書く力、考える力を育てるはがき新聞づくり」 ・内 容「はがき新聞」を使った授業作りとワークショップ

C-3 日本人学校等への支援・助成

C-3	①海外日本人学校等への支援・助成
内 容	日本人学校、補習授業校等から毎年度10校を選び、児童図書を寄贈 ・ジャカルタ日本人学校に図書寄贈

C-4 コンクールの開催・顕彰

C-4	①第19回「プリントコミュニケーションひろば」
内 容	・応募作品90点(通信の部60点、学校だよりの部8点、その他の部22点)の審査会を開催(5月25日) - 受賞作品は33点(ひろば賞30点、新人賞3点) ・作品集は10月中旬に発送

その他の事項

①理事会・評議員会

第60回理事会 5月23日(ハイブリッドによる開催)
第61回理事会 6月13日(書面決議)
第62回臨時理事会 7月2日(書面決議)
第63回臨時理事会 10月1日(ハイブリッドによる開催)
第64回理事会 11月27日(ハイブリッドによる開催)
第65回理事会 3月26日(ハイブリッドによる開催)
第15回定時評議員会 6月19日(ハイブリッドによる開催)
第16回臨時評議員会 6月19日(ハイブリッドによる開催)
第17回臨時評議員会 2月18日(ハイブリッドによる開催)

②理事・評議員人事

・理事

退任:6月19日 城島 栄一郎氏が理事を退任
新任:6月19日 森山 卓郎氏、田中 博之氏が理事に就任

・評議員

退任:6月19日 森山 卓郎氏が評議員を退任
新任:6月19日 達富 洋二氏が評議員に就任

③新規事業の検討

・私学の学びの多様化学校(小学校・中学校)を対象とした奨学金給付事業の2025年度からの開始に向け準備を実施